

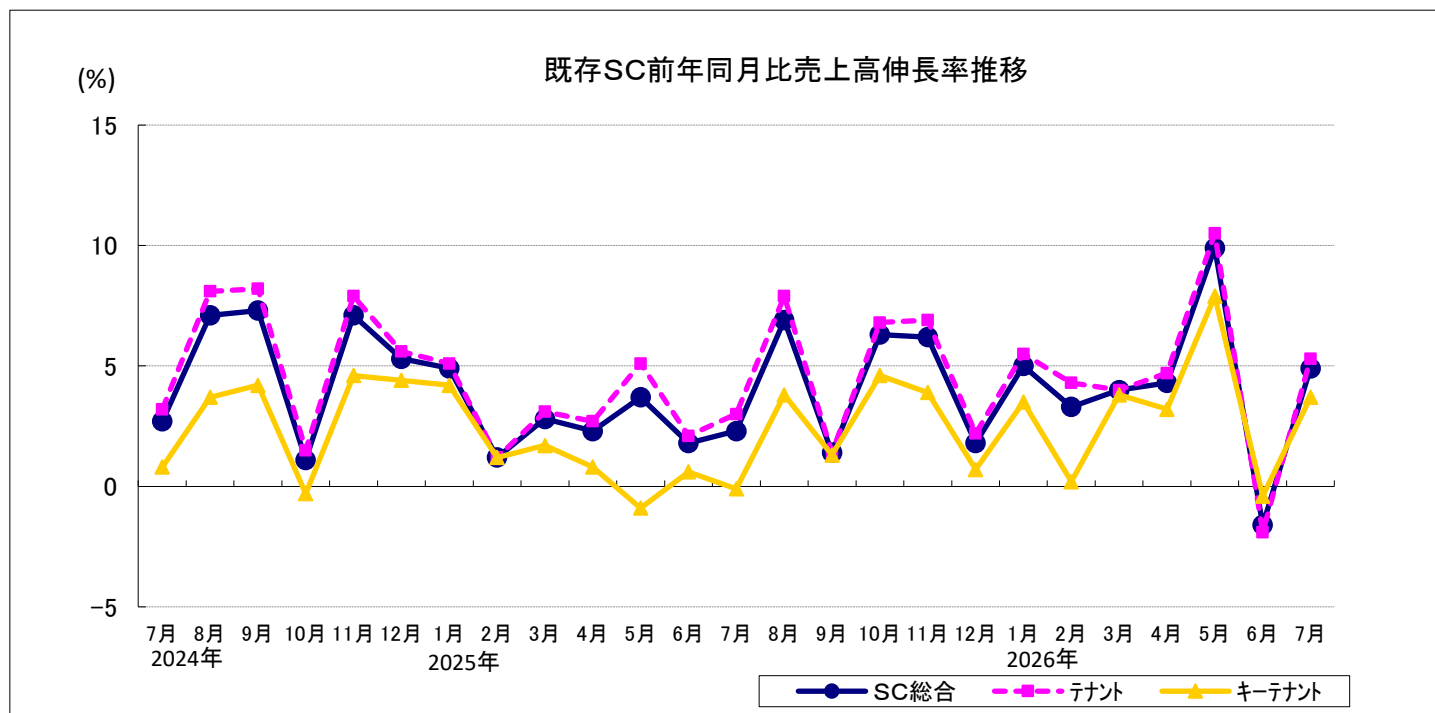
SC販売統計調査報告2026年7月

既存SC前年同月比売上高伸長率 : +4.9%

梅雨明け後の気温上昇で盛夏商品が稼働

< 2026年7月度・全体概況 >

- 7月度の既存SC売上高の前年同月比伸長率は、総合で+4.9%となった。
- 月上旬は前線の停滞や台風の接近などで悪天候となったものの、梅雨明けとなった中旬以降は気温が上昇し、前月の悪天候と低気温の反動もあり、盛夏商品が稼働した。特に夏物衣料やUV対策、冷感商品が好調だった。インバウンドや若年層、ファミリー層の来館も多くみられた。一方、気温上昇による外出控えがみられるとの声も聞かれた。
- 立地別にみると、中心地域は総合で前年同月比伸長率+8.0%、周辺地域は同+3.6%となった。中心地域は新規テナントの入店効果や館のイベント集客効果のほか、インバウンドの来館のあったSCが好調だった。周辺地域は館のイベント集客効果のほか、月中旬からの気温上昇とセールの時期が重なったSCが多く、好調だった。
- 業種別にみると、「ファッション」は前月の悪天候、低気温の反動と気温上昇により、半袖Tシャツやノースリーブなどの盛夏衣料のほか、UV対策や接触冷感などの機能性衣料が稼働した。「雑貨」は気温上昇によりハンディファンなどの冷感商品のほか、日傘やサングラスなどのUV対策商品が稼働した。「飲食」は夏休みに入り夏限定メニューの稼働などにより、若年層やファミリー層の利用が多くみられた。「食料品」は、国内外観光客の来館があったSCで土産品が好調だった。スーパーマーケットは土用の丑の日が好調だった。



以上

この件に関するお問い合わせは 情報・リレーション部: 菰田・木口
TEL: 03-5615-8524

※お手数をおかけいたしますが、掲載紙・誌をお送りいたしますようお願い申し上げます。掲載部分をFAXにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当: 浅田

{ Tel. 03-5615-8524 / Fax 03-5615-8539
Mail. pr@jcsc.or.jp }